

知内町では、人口減少が進む中、地域産業の維持発展に向けて、「しりうちゼロカーボンシティ」の実現を目指し、人口減少に適応した地域づくりを目指している。

関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R6)	目標値 (R7)	進捗率 (%)
二酸化炭素 排出量 (t-CO2)	3,071	2,357	2,000	84.8

取組の推進体制

役場、町内関係団体から構成される「知内町脱炭素協議会」を立ち上げ、適切な役割分担の下、官民の連携により地域との合意形成を図りながら取組を効果的に推進。

庁舎をはじめとする公共施設のLED化や木質バイオマスボイラーを導入することにより、二酸化炭素排出量が、近年減少傾向にある。

取組事例 ゼロカーボンの推進(住民向け)

- 主な取組
 - ・住宅改修・省エネの取組を支援するため、家庭で省エネ機器等へ更新の際に補助を実施。
- 主な成果
 - 令和6年度から実施し、103件の申請があった。引き続き令和7年度も実施し省エネ化を支援。



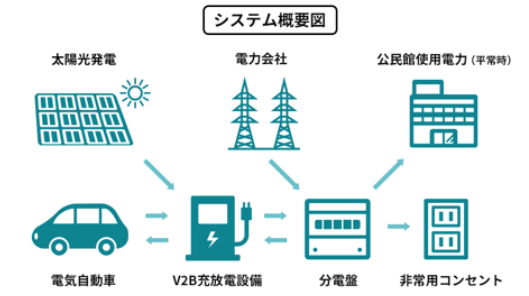
取組事例 ゼロカーボンの推進(町の取り組み)

再生可能エネルギーの導入

- 主な取組
 - ・町が主体となり、公共施設へ木質チップボイラーを積極的に導入
(庁舎/町民プール・中央公民館/スポーツセンター/知内高校 3基導入)
- 主な成果
 - 重油使用量、二酸化炭素排出量を大きく削減。木質燃料の製造を指定管理者制度で地元民間企業を活用し、産業の活性化と雇用の創出を実現。



V2Bシステムの導入



- ソーラーカーポートと連系したV2Bシステム及び環境配慮型車両(EV車)を導入
- 太陽光で発電された余剰電力は、有事等の際に隣接する中央公民館で活用